

東二見地区減災プロジェクト

東二見地区減災プロジェクト

明石高専 D-PRO135°
明石高専 D-PRO135°

昨年度からの活動変化

昨年度からの活動変化

D-PRO135°、明石高専建築会、ボランティアクラブ東二見との連携	⇨	D-PRO135°がほぼ単独
活動地域の拡大 … 西之町	⇨	西之町、北野町、仲之町、地蔵町、東野町
イベントの変化 … まち歩き、防災イベント	⇨	感震ブレーカー、ヒアリング
より要援護者に寄り添った活動へ		

感震ブレーカーの設置

感震ブレーカーの設置

感震ブレーカーとは？

阪神淡路大震災、東日本大震災、どちらの震災でも原因が特定できた火災の約6割を占めるのは電気関係の出火、特にその大半を占めるのが通電火災でした。

阪神淡路大震災では神戸市内で157件の建物火災が発生し、原因が特定できたのは55件で、そのうち35件が電気火災と最も多く、そのうち33件が通電火災だったそうです。

経済産業省では、電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的として普及啓発がされています。



東二見地区での設置

東二見地区は古い住宅が密集しており火災の危険性がさらに高い上、高齢者の方も非常に多いため、将来的にはできるだけ多くの多くの家での設置を目指し活動を進めています。

現在は自治会や民生委員と協力し、要援護者の方を中心に仲之町で5軒、地蔵町で40軒の設置が完了しています。

今後の活動展開

今後の活動展開

防災イベントの多数開催

防災訓練

防災グッズのレクチャー

ダンボールベッドや非常食などの体験

炊き出し(地域の婦人会と協力)

震災体験者の方の知識の周知拡大

⇨

いざ災害時に要援護者を助けるということにプレッシャーを感じさせないようにするため、

前年度よりアクティブな要援護者を含めた地域のコミュニティを強くする。